

グローバルにおける自動運転シャトル(SDV)市場見通し(～2031年)

現在世界各地で急速に進む都市化が都市交通システムを圧迫しています。多くの地域ではファースト・ラストマイル接続の欠如により十分な交通システムが提供されていません。本調査ではこれらの解決手段となり得る自動運転シャトル(SDV:シェアードドライバーレスカー)市場について見通しを提供しています。具体的な内容としては、現在のSDVで活用される技術、SDVの性能向上を期待される技術進歩、グローバルにおける各地域でのSDVの普及によるメリットとデメリット、グローバルにおける同市場の主要技術プロバイダーの特定、SDVの鉄道業界への影響、現在のSDVの提供サービスなどについてまとめています。調査対象地域はグローバル、調査対象期間は2016年から2031年までです。